

令和7年度 第1回 よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会 会議録	
日 時	令和7年8月6日（水）15時00分～16時10分
開 催 場 所	横浜市役所18階 みなと5会議室
出 席 者	和委員長、大原委員、佐藤委員、関委員、中村委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者なし）
議 題	1 よこはま多世代・地域交流型住宅の検証及び評価について 2 その他

議事要旨	
事務局	<p><u>1 よこはま多世代・地域交流型住宅の検証及び評価について</u></p> <p>よこはま多世代・地域交流型住宅（既存5か所）について、条例第2条第1項第2号に定める検証及び評価を行うため、「よこはま多世代・地域交流型住宅 自己診断（セルフチェック）票（案）」を説明</p> <p>《主な意見等》</p> <p>多世代住宅に認定された計画内容を遵守しているかを確認するだけではなく、どんな良いことをやっているのか、どうゆう効果が生まれたのかを、他のところにも知ってもらうことで、良いことはどんどん広がりをみせていく。効果があったと思われるものを書いてもらうような様式がよい。</p> <p>関委員</p> <p>コーディネーター以外にキーパーソンが多くいればいるほど、日々の交流が生まれる。そのような中心となって動く人がどのくらいいるのかという質問を設けると、実情が見えてくるかもしれない。</p> <p>中村委員</p> <p>コーディネーターを配置しているかと、継続的に地域交流を支援する運営体制を整えているかは、質問項目を整理した方がよい。運営体制を聞くのか、具体的な取り組み内容を聞くのか、分かるよう独立させないと、書いている方は「自分たちは何を評価されるのだろう」となる。体制を聞くのであれば体制を聞いた上で、具体的にどのようなことを行っているかを聞いた方がよい。</p> <p>佐藤委員</p> <p>コーディネーターは専任か兼任か、何と兼任なのか。月単位でも年単位でも、どのくらいの時間を交流のコーディネートに割けているのか。ここはしっかり聞いた方がよい。</p> <p>大原委員</p> <p>多世代交流といつても、どうゆう多世代なのか見てこないので、エリア毎の人口構成的な基礎データは別途抑えて置く必要がある。</p> <p>佐藤委員</p> <p>イベント等の実施概要について、どこかと繋がりを持てていれば、広がりがあると思うので、協力連携先も入れてほしい。</p> <p>和委員長</p> <p>細かな文言等は事務局の方で整理頂いたものを私の方で確認させていただき、委員の先生方にも最終確認していただいて、意思統一していきたい。</p> <p><u>2 その他</u></p> <p>特になし</p>
	以上